

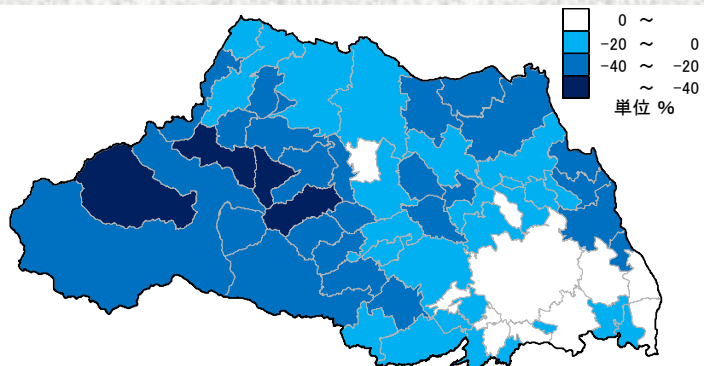
# 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進について

**少子化や急速な高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来**

## 人口減少

約727万人 (2015) ⇒ 約672万人 (2040)

出典: 2015年は「国勢調査」、2045年は社人研「日本の地域別将来推計人口」(2018年推計)

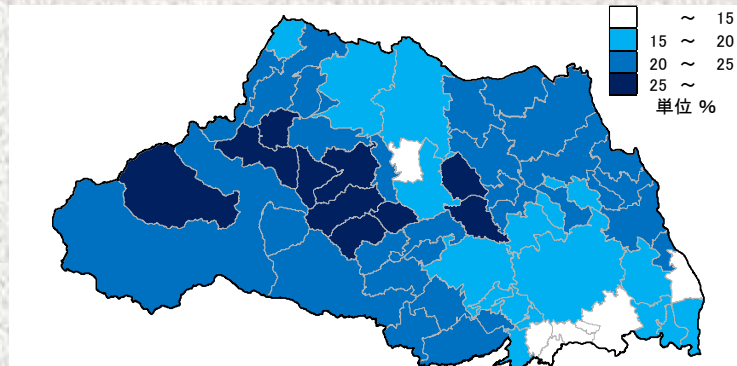


《人口増減率(2015年→2040年)》

## 後期高齢者の増加

10.6% (2015) ⇒ 18.5% (2040)

出典: 2015年は「国勢調査」、2045年は社人研「日本の地域別将来推計人口」(2018年推計)



《後期高齢者の割合(2040年)》

都市機能低下

地域経済の衰退

厳しい財政運営

**持続可能でコンパクトなまちづくりを進め、日本一暮らしやすい埼玉県へ**

# プロジェクトの基本的な考え方(骨格)

**コンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素全てを含む、地域特性に応じたまちづくりを支援**

【参考】まちづくりの一例 (イメージ)

コンパクト

+

スマート

+

レジリエント

【取組例】

医療、福祉、交流等の複合拠点を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを促進

【取組例】

センサーを活用した高齢者や児童の見守り、災害時の情報提供

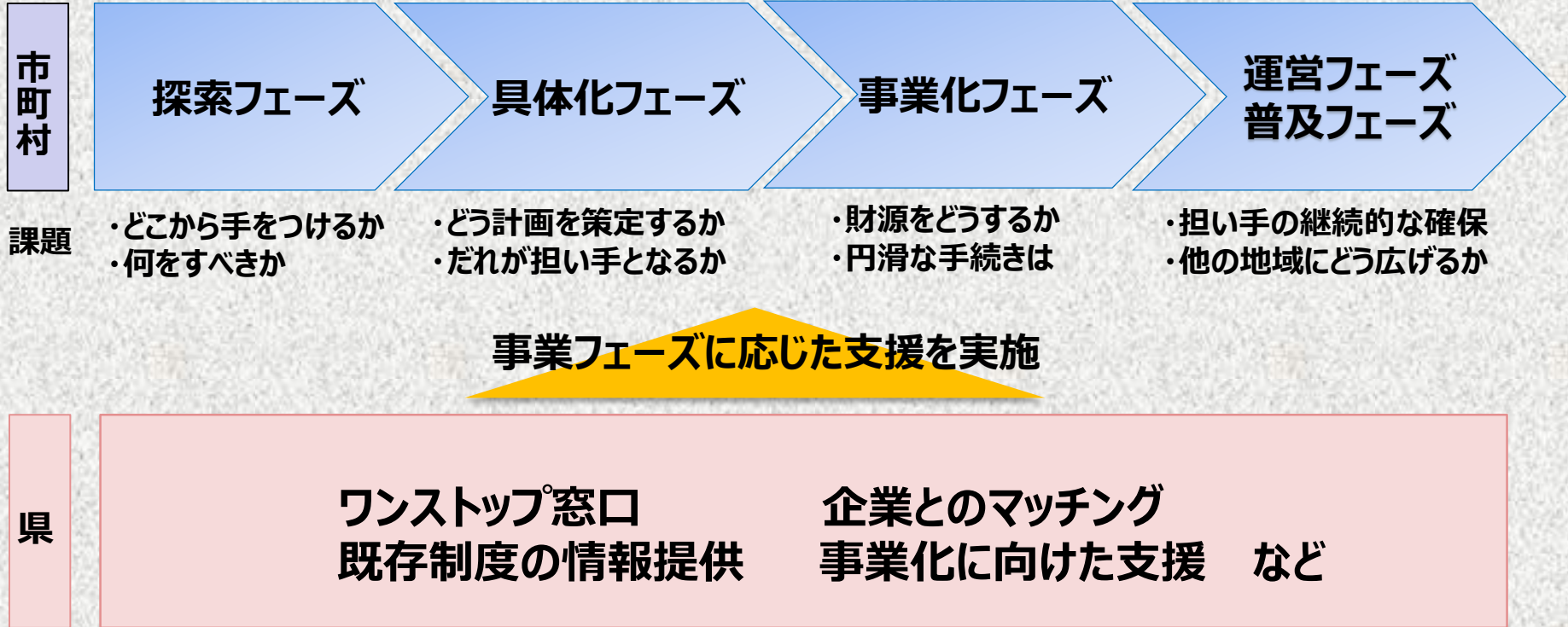
【取組例】

蓄電池の活用等、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築



※取組はハード・ソフト不問、中長期スパンでも可

# 支援の進め方について



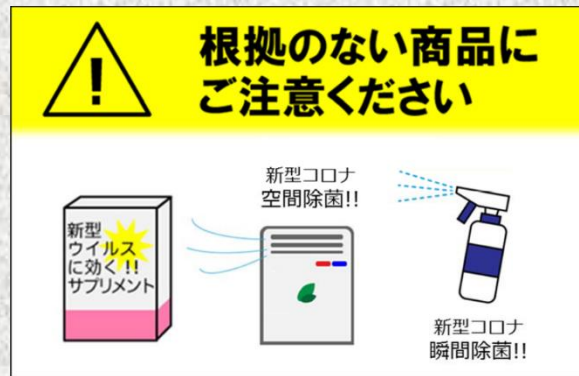
# 新型コロナウイルス予防効果を標ぼうする商品等の表示の注意点

消毒・除菌のための**空間噴霧**は**推奨していない**

(世界保健機関(WHO)、厚生労働省)

① 現段階では、予防効果に客観性・合理性を欠くおそれがあり、こうした表示は景品表示法に**違反**するおそれが高い(消費者庁)

② 店舗やホームページ等の新型コロナウイルス対策の表示にも注意が必要

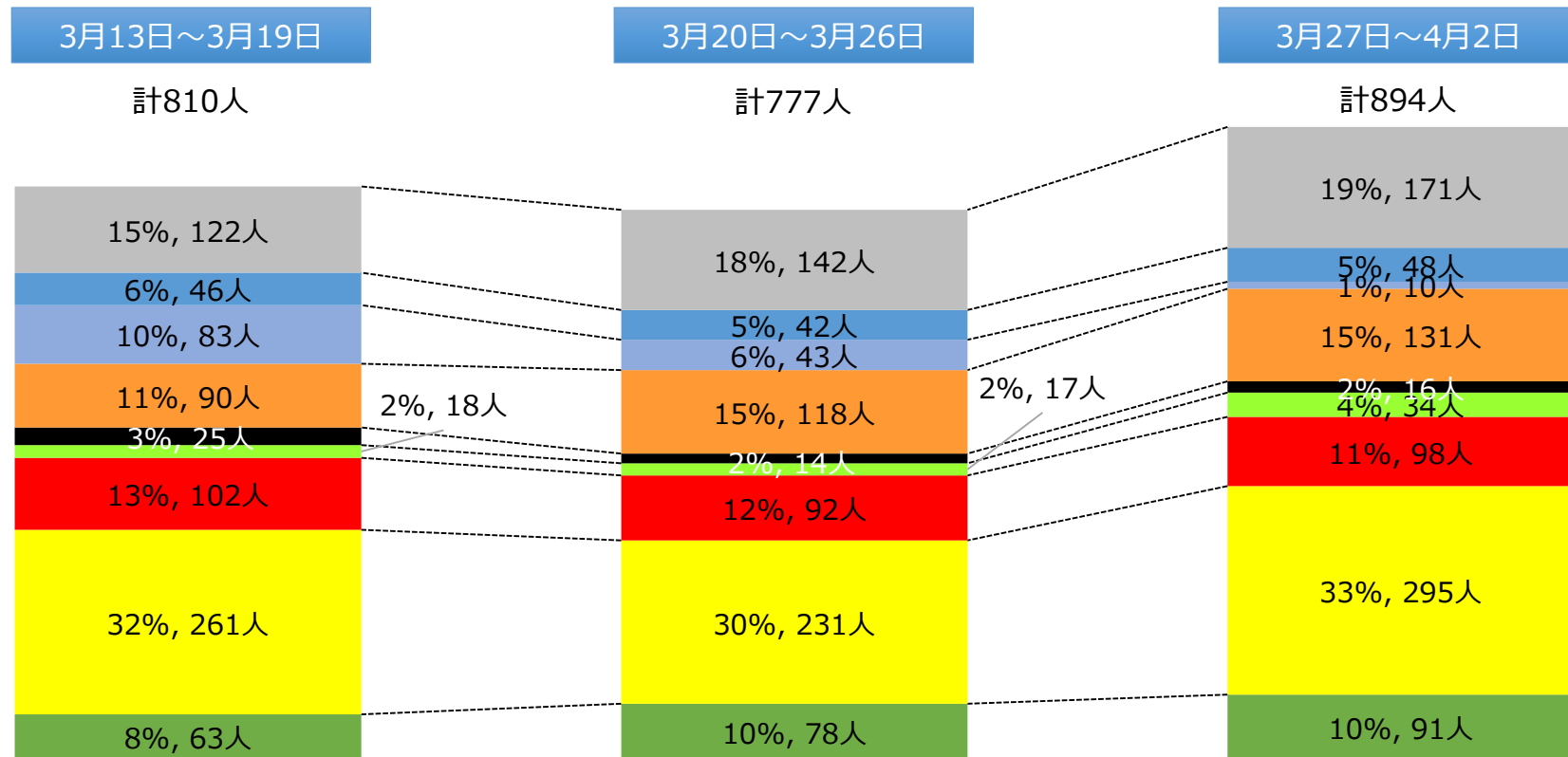


出典: 消費者庁ウェブサイト

# 埼玉県の感染動向の推移について(ステージ指標)

	ステージⅢ指標 (ステージⅣ指標)	3月22日		3月29日		4月5日
病床全体占有率	確保想定病床の占有率20%以上 (50%以上)	36.3%	↙	32.6%	↘	33.3%
うち重症病床占有率	確保想定病床の占有率20%以上 (50%以上)	18.0%	↘	18.5%	↗	18.5%
療養者数	人口10万人当たりの 全療養者数15人以上 (25人以上)	17.1人	↘	18.9人	↘	19.7人
PCR検査陽性率 (※1週間の平均)	10%	3.8%	↙	3.5%	↘	4.1% <small>※4日4日の数値</small>
新規報告数	1週間10万人当たり 15人以上 (25人以上)	10.2人	↘	11.5人	↘	12.6人
直近1週間と 先週1週間の比較	直近1週間が 先週1週間より多い	0.88	↘	1.13	↙	1.09
感染経路不明割合	50%	44.4%	↘	50.8%	↙	47.1%
※参考 実効再生産数	※計算式 =(直近7日間の新規陽性者数/その前 の7日間の新規陽性者数)^(5日※/7 日)※平均世代時間を5日と仮定	0.911	↘	1.089	↙	1.066

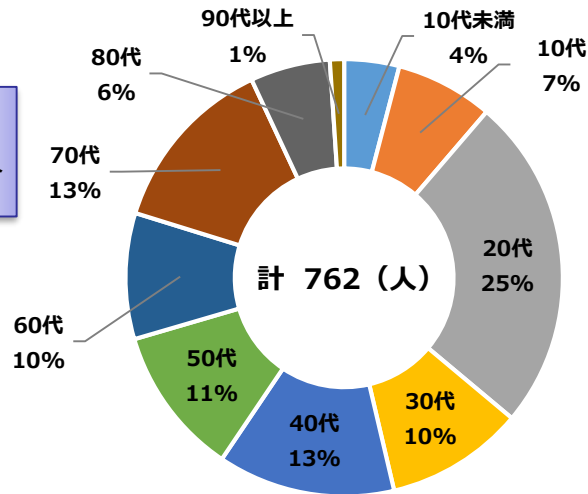
# 埼玉県の感染動向の推移について(感染疑い経路区分)



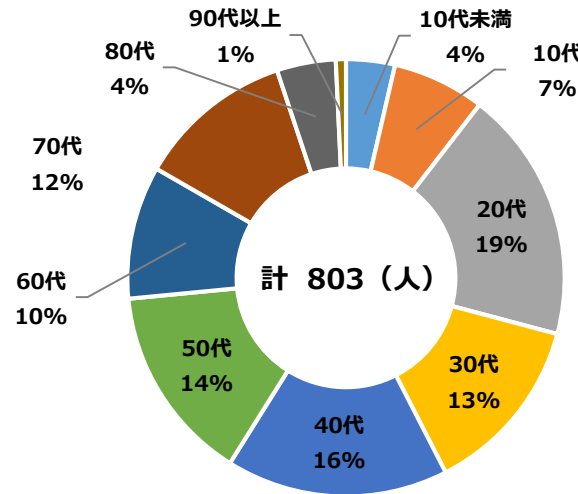
■ 都内での感染
 ■ 家庭内
 ■ 夜の街+飲食
 ■ 施設(高齢)
 ■ 病院
 ■ 勤務先
 ■ 学校
 ■ その他感染経路が推定できるもの
 ■ 不明

# 埼玉県の感染動向の推移について(年齢構成)

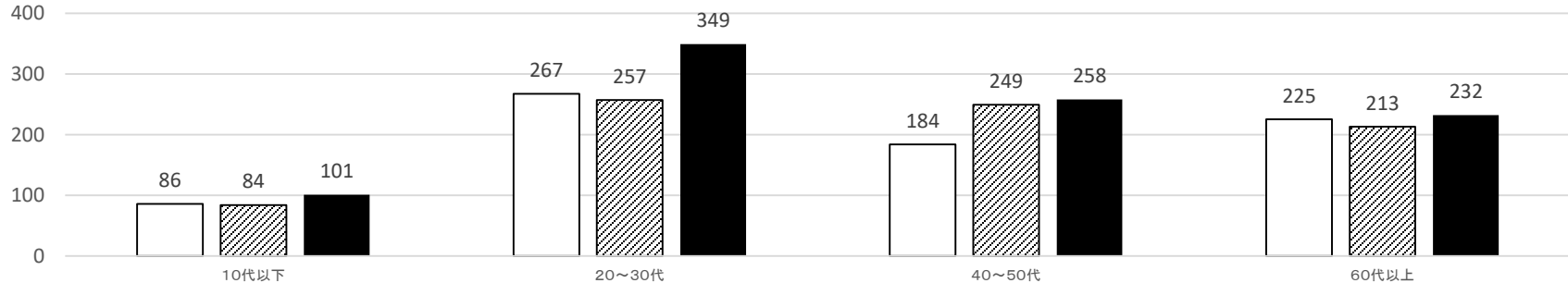
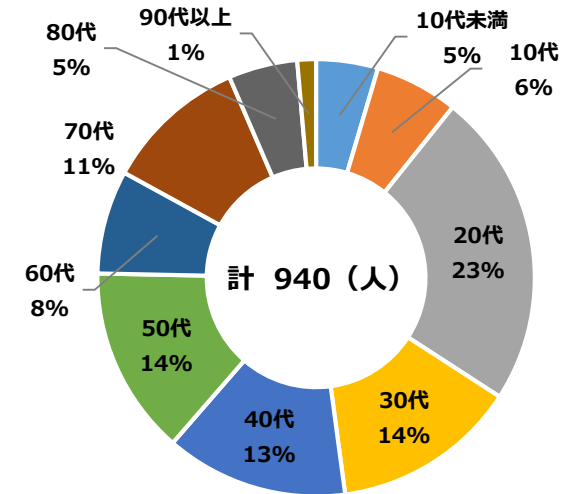
①3月15日～3月21日



②3月22日～3月28日



③3月29日～4月4日



# 県民の皆様へのお願い

◆ 飲食を伴う歓送迎会、歓迎コンパなどは控える

◆ 「昼飲み」、「昼カラ」も長時間を避け、  
夜と同じ**感染防止対策を**

◆ 不要不急の外出自粛、県境をまたぐ移動の自粛 (特措法第24条第9項)

◆ 営業時間の短縮を要請している県内の飲食店等の午後9時以降の利用回避 (特措法第24条第9項)

◆ 感染症対策が十分に取られていない施設の利用は回避 (特措法第24条第9項)